

令和2年度第2回滝沢市社会教育委員会議（顛末書）

- 1 件名 令和2年度第2回滝沢市社会教育委員会議
- 2 日時 令和3年1月27日（水）午前10時から正午まで
- 3 場所 滝沢市
- 4 出席委員

委員14人のうち12人の出席であり、規則第5条に基づき会議は成立する。

No	役職	氏名	所属など	出欠
1	議長	嶋野 重行	盛岡大学短期大学部 教授	○
2	副議長	村上 四郎	滝沢市陸上協会理事	○
3	委員	菅野 道生	岩手県立大学 社会福祉学部 准教授	—
4	委員	小野 保	国立岩手山青少年交流の家 所長	○
5	委員	市村 康之	滝沢市小中学校長会監事（篠木小校長）	○
6	委員	柳橋 民治	滝沢市自治会連合会 副会長	○
7	委員	土井尻たき古	滝沢市地域婦人協議会 副会長	○
8	委員	主濱 恵悦	滝沢市子ども会育成連合会 会長	○
9	委員	吉田 友彦	滝沢市PTA連絡協議会 会長	○
10	委員	佐々木昭司	滝沢市芸術文化協会 副会長	○
11	委員	切金 一夫	滝沢市少年補導員連絡会 会長	○
12	委員	渡辺 炎如	滝沢市商工会青年部 副部長	—
13	委員	大畑佳代子	滝沢市国際交流協会 事務局長	○
14	委員	小島 勝子	滝沢市レクリエーション協会会長	○

5 出席職員

No	氏名	所属・役職など	担当分野
1	熊谷 雅英	教育長	—
2	佐藤 勝之	教育次長	—
3	朝岡 将人	生涯学習スポーツ課長	—
4	佐々木澄子	文化振興課長（図書館長・埋蔵文化財センター所長）	—
5	横澤美保子	文化振興課 総括主査	図書館
6	井上 雅孝	埋蔵文化財センター 総括主査	文化財
7	細川 健一	生涯学習スポーツ課 主任主査	生涯学習 社会教育
8	川又 健二	生涯学習スポーツ課 主任主査	スポーツ
9	大井創太郎	文化振興課 主事	文化芸術

## 6 会議内容

### (1) 開会

### (2) 教育長あいさつ

### (3) 議事録署名人の任命

### (4) 報告

ア 令和2年度社会教育事業の進捗状況について（12月末現在）

### (5) 協議

ア 令和3年度社会教育行政の方針と計画（案）について

イ 令和3年度社会教育関係等団体に対する補助金の交付について

### (6) 説明

ア 滝沢市における健康づくりの取り組みについて

### (7) 閉会

## 7 質疑応答など

### (1) 報告

委員 コロナ禍により図書館の貸出冊数が102,220冊とのことですが例年に比べて増減はどうなっていますか。

事務局 4月からは落ち込みましたが、夏休み以降は昨年度を超える貸出数でしたが秋以降に再び落ち込みました。現時点で総冊数は例年より約1割減となっています。コロナ感染が広がった当初に本を借りることや図書館来館自体に不安を感じる人々もいましたが、今は予防対策を講じています。

委員 放課後子ども教室推進事業に関する持続可能な財源確保が課題とありますが、令和3年度事業計画にも同事業が盛り込まれています。これは新たな財源が確保され引き続き継続されるものと捉えてよろしいでしょうか。

事務局 今までは国からの東日本大震災復興関係予算で賄っていましたが今年度で打ち切りとなるも補助率は下がりますが新たな補助金を確保して継続する予定となっております。

### (2) 協議

委員 人と人とを結ぶ社会教育は **with** コロナ時代にあっては苦戦するとの危惧があります。国立岩手山青少年交流の家来年度事業計画も全てゼロベースで見直し **with** コロナ仕様での組み直しを行っています。

さて、当方では子どもの自然体験のみならず読書活動の普及啓発にも取り組んでおり私自身が文部科学省に勤務していた折、子どもの読書活動推進計画にも携わっていました。国では、家読（うちどく）文字通り家で読書をすることを推奨した事業などもございますのでぜひご活用いただければ幸いです。

また、学びガイド掲載コンテンツですがコロナ禍により大幅変更があったと存じますが、どのような手立てで周知なさったのでしょうか。

事務局 学びガイド全戸配布は7月に行った経緯もあり、緊急事態宣言が解除され閉塞感から放たれ「学びたい」、「活躍したい」との市民ニーズに応えるば

かりでなく近隣市町の皆さんからの関心も高かったです。また、コンテンツは全て市行政や関係機関、関係団体・サークルなどの連絡先を明記しているため紙面では表れない最新情報をそれぞれに問い合わせる方法で把握する仕組みとなっています。

委員 今回示された社会教育行政の方針と計画ですが、「学校と地域との連携・協働」との視点に立った総合的かつ横断的な構成となっており感謝しております。コミュニティ・スクール移行も視野に入った取り組みが展開されますので今後ともよろしくお願いします。

委員 全国的にもSDGsビジネスが横行しています。企業や自治体などに対して何らかの資格・認定士取得を謳い多額な経費が生じてしまうことに不安を感じています。ただ、SDGsの理念そのものは素晴らしいので意識啓発を図るセミナー開催程度に留めてはと感じています。

事務局 確かにSDGsビジネスが横行しています。神奈川県ではSDGs未来都市や県内市町村における自治体SDGsモデル事業に積極的に取り組んでいる経緯があり、それをモデルとしたビジネス形成にもつながっています。

現時点では、市教委としては学びプランたきざわに基づき、SDGsの理念に基づく全庁規模による生涯学習推進ネットワーク形成と意識啓発を図るセミナー開催のみとしています。

委員 私たち滝沢市地域婦人協議会による歳末たすけあい演芸会は中止となり市社会福祉協議会などからお声掛けいただき代替イベントとして歳末たすけあいマーケット・バザーを目指すもこれも中止になりました。ですが、ひとり親世帯などに寄付されたものをお届けすることができました。

委員 子どもたちを対象とした郷土理解に関する事業をもっと展開し、先人からの貴重な遺産をもっと後世に伝えていくことに力を入れてほしいです。

事務局 民具保管庫公開ですが小学校1件から申し込みがありました。コロナ感染拡大により中止となりましたが来年度も取り組んで参ります。コロナ禍における文化財見学会の開催方法を模索しているところです。「滝沢市の歩み」の在庫はまだありますのでイベントなど機会を捉えながら販売に取り組んで参ります。

委員 学校を核とした地域づくりとの方向性素晴らしいです。しかし、コロナのため本年度事業はかなり制限がありましたが、来年度は何とか創意工夫をしながら開催を目指したいのでガイドラインを提示いただければと存じます。

委員 芸術祭たきざわは一部部門を滝沢ふるさと交流館で開催しましたが、来年度は全部門をビッグルーフ滝沢で開催できればと思います。なお、新春初踊りが中止となってしまいました。

委員 コロナ禍で難しい時代ですが、滝沢市少年補導員連絡会として全国を牽引できるような青少年の健全育成に取り組んで参りたいと存じます。

委員 来年度SDGsセミナー開催日程についてお教えいただければと存じます。

事務局 第1部は9月25日に開催してSDGsについて学ぶ場となり、第2部は10月16日に開催して発達障がいとペアレントトレーニングについて

学ぶ場を予定しています。

委員 今年度のスポーツ・レクリエーション活動は全て中止となってしまいました。新しい生活様式に沿ったマニュアルが本部からは示されていますが人が集まることに難しさがあり、実践の場が今はなくなってしまいました。

知人から春子谷地湿原のハッコウトンボ保護にもっと力を入れてほしいと話されましたことをお伝え申し上げます。

委員 来年度のチャレンジデーはどのような見込みでしょうか。

事務局 参加を目指していますが、具体的な開催方法など現在、検討中です。